

＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/

ことばだより No.89

ことばのもり 2003.9.1

INDEX

ことば徒然

言語性を伸ばす指導

ことば徒然

2学期が始まります。

「いい休みを過ごしてください」

と1学期の指導を終えるときに声をかけました。

「どんな休みでしたか」

と2学期の指導をはじめる前に聞くようにしています。

日にやけて、真っ黒になりくる子ども、

話すことを楽しみにくる子ども、

誤りのあった発音が改善し、笑顔でくる子ども、

話を聞いた後、いつものように指導をはじめます。

言語性を伸ばす指導

1年生の子どもに2学期にある行事を絵カードを使い、お話します。

「うんどうかい」「あきのえんそく」「はっぴょうかい」のお話をします。

そして、「たまいれ」「つなひき」「かけっこ」「バス」「おべんとう」「おやつ」

「え」「さくひん」「おんがくかい」の絵カードを出します。

「うんどうかい」でするのはどれ？と聞きます。

「たまいれ」「つなひき」「かけっこ」を選んだら、文で表現します。

たとえば、

「うんどうかいが、あります。たまいれやつなひき、かけっこをします。

がたのしみです。」

と言うように・・・。

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

漂泊鳥から

2学期がスタートしました。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

=====
ことばだより No.88

ことばのもり 2003.8.25

=====
INDEX

ことば徒然

言語性を伸ばす指導

ことば徒然

小学校の正門のところに大きな木がありました。

子どもころ、夏休みになると、せみを捕まえに行きました。

朝から、虫捕り網をもって、木の幹に引っ付いて鳴くせみを捕まえに行きました。

一匹でも捕まえると、うれしくて、かごの中に入れて持ち帰りました。

昼の間、せみで遊んでいました。

夕方には、元気がなくなったので放していたように思います。

それからしばらくしてです。

せみは長い時間土の中で過ごし、成虫として過ごすのは数日だけだということを知りました。

次の年からは、せみを捕まえますが、せみで遊ぶことはしなくなりました。

言語性を伸ばす指導

PVT の検査の続きです。

「投票」と聞いて、「選挙」「演説」とイメージできるのは聞いて理解する力が強いと言えます。

「演説」の絵を見て、「選挙」「投票」とイメージできるのは見て理解する力が強いと言えます。

実際に PVT の検査をしていて、ここまでは確かめられませんが・・・。

これを確かめられるのが ITPA だと思います。

___/

漂泊鳥から

PVT の検査だけで夏休みが終わってしまいました。

この続きは冬休みに、したいと思います。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

___/

=====
ことばだより No.87

ことばのもり 2003.8.18

=====

INDEX

ことば徒然

言語性を伸ばす指導

ことば徒然

子どものころ、この季節になると、近くのプールにつれてもらいました。

ある時、足も立たない大人用のプールの真中まで連れて行かれました。

そのときは、まだ泳げませんでした。

必死にもがいて、プールサイドまで泳いだ記憶があります。

近くで親が見ていてくれたと思います。

沈みかけたら、そっと手を伸ばせば届くところにいてくれたんだと思います。

そんな距離感も親子には必要に思います。

言語性を伸ばす指導

PVTの検査の続きです。

「身近なことは、具体的なことは習得しているようです。
しかし、ことばや絵から類推する力が弱いのかもかもしれません。
会話は目に見えていないことを伝え合います。
そのときに類推する力が弱いと、聞いてもイメージできない。
理解できないのかもかもしれません。」

と伝えるときがあります。(子どもの生活年齢にもよりますが・・・)

投票と聞いて演説の絵を指さします。

このページには、投票している場面の絵はありません。

投票と聞いて、「選挙」「演説」「投票」とイメージできれば、演説の絵を指差すことができそうです。

演説の絵を見て、「選挙」「投票」がイメージできれば、演説の絵を指さすことができます。

___/

漂泊鳥から

のんびりとオリンピックを見えています。

のんびりと夏休みを過ごしています。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

___/

=====
ことばだより No.86

ことばのもり 2003.8.11
=====

INDEX

ことば徒然

言語性を伸ばす指導

ことば徒然

おじいさんが溝に糸をたらしています。
少しはなれたところで、男の子も糸をたらしています。
ザリガニを釣っているようです。
ときどき、男の子はおじいさんの方を見ている。
ザリガニがつれたか気になるのでしょうかね。
おじいさんが糸をあげると、糸の先には小さなザリガニが一匹いました。

こんな経験もことばを育てるんでしょうね。

言語性を伸ばす指導

PVTの検査の続きです。
子どもは、ことば数が増えるにつれて、正しい発音を獲得していきます。
そして、器質的な問題がない限り、小学校入学前後にはすべての発音を獲得します。
発音の誤りがあり、PVTの検査で語彙年齢が6歳を超えているときがあります。
このような場合、親御さんに次のように話します。
「誤って発音の仕方を学習したのかもしれません。
または、話すための器官の動きが未熟なのかもしれません。」
と。

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／
漂泊鳥から
やっとのんびりできそうです。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

=====
ことばだより No.85

ことばのもり 2003.8.4
=====

INDEX

ことば徒然
言語性を伸ばす指導

ことば徒然

小さいシャボン玉は、ストローから息を強く出せば、たくさんできます。
しかし大きいシャボン玉は、同じように息を一気に出したのでは、できません。
息の調整が必要です。
ゆっくり長く出すことによって、シャボン玉は大きくなります。
サ行の発音は、一気に息を出すのではなく、ゆっくり長く息を出すことが必要です。
大きいシャボン玉を作るように、ゆっくり長く出します。

言語性を伸ばす指導

PVT の検査の続きです。
「学習するには三つの力が必要です。
聞いて学ぶ力
見て学ぶ力
記憶する
この三つが必要なんです。」
と説明するときもあります。

ページの正答が三つ以下になり、次のページのはじめから三つ続けて誤答か無答のときに検査を中止します。
換算して、生活年齢と語彙年齢を比べます。
語彙年齢のほうが低い場合と高い場合、ほぼ同じ場合の三つに分かれます。
語彙年齢が低い場合には、聞いて学ぶ力が弱いのか、見て学ぶ力でカバーできるか考えます。
高い場合には、聞いて学ぶ力が強いのか、見て学ぶ力はどうか観察していきます。
絵カードを使い、検査をしながら観察していきます。

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

漂泊鳥から

休み前の生活とかわらない生活を送っています。

こんな休みもいいかと思えます。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

=====
ことばだより No.84

ことばのもり 2003.7.28

=====
INDEX

ことば徒然

言語性を伸ばす指導

ことば徒然

女の子をおんぶしているお母さんが電車に乗ってきました。
そのそばに男の子がいます。
男の子がお母さんに何か話しています。
お母さんは腰を下ろして男の子の話を聞いて、
「よかったね」
と笑顔で声をかけていました。
お母さんの笑顔に安心できたんでしょうね。
その後、男の子は、手すりを持って、静かに窓の外を見ていました。

言語性を伸ばす指導

夏休み期間中、いくつかの検査についてまとめてみます。
はじめはPVT（絵画語彙発達検査）についてです。
この検査は、3歳から10歳までを対象にしています。

この検査から語彙年齢がわかります。

理解していることば数がどれくらいあるか判断できます。

68のことばを子どもに問います。

子どもは、そのことばからイメージできる絵を指差します。

はじめは、その絵に描かれているものの名前を問います。

そして、そのものの属性や上位概念、部位の名前を問います。

問うことばは、日常生活から離れていきます。

さらに絵本やテレビ、ビデオで見たり聞いたりしたろうことばを問いつづけていきます。

子どもの記憶や類推する力も関係していると思います。

4ページあたりから誤りが出てくる子どもの親御さんには、次のように伝えることができます。

「日常使うことばは理解できています。

しかし、たまにしか聞かないことば、耳で聞いたであろうことばは、定着しにくい の
かもしれません。」

「日常的にくり返し耳から入ってくることばは、定着できています。

たまにしか聞かないことばとそのものをつなげて記憶する力が弱い のかもしれませ
ん。」

一例です。

子どもの年齢によっても親御さんに伝える内容は変わります。

また、ここから指導が始まります。

___/

漂泊鳥から

休みとはいえ、忙しい毎日です。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

___/

=====
ことばだより No.83

ことばのもり 2003.7.21
=====

INDEX

ことば徒然

言語性を伸ばす指導

ことば徒然

朝、登園中の子どもが、道のまん中に座り込んでいます。
虫かごをおいて、虫の見せ合いっこをしています。
どこで見つけたのか。
何をえさにあげているのか。
どれだけ力が強いのか。
話しをしているようです。
前を歩く、お母さんに声をかけられて、虫かごを持ち、また歩き出しました。
自慢話しもこの時期の子どもには、必要です。

言語性を伸ばす指導

1年の1学期の終わりには、漢数字が出てきます。
横一列に「一」から「十」まで視写します。
そして、「一」と書き、つづけて「つ」と書きます。
「一つ」をさして、「ひとつ」と読むよ。と教えます。
また横一列に「二つ」「三つ」「四つ」「五つ」・・・と書いていきます。
次はエンピツの数を数えます。「何本ですか。」と問います。
「一ぼん」「二ぼん」「三ぼん」「四ぼん」と数えていきます。
問いに答えて、書いていきます。
数によって読み方が変わります。

＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/

漂泊鳥から

1学期が終わりました。

今年は暑くなりそうです。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/＿/

=====
ことばだより No.82

ことばのもり 2003.7.14
=====

INDEX

ことば徒然
言語性を伸ばす指導

ことば徒然

雨の季節になると思い出します。

駅から親子3人が歩いて、教室に通ってきます。

雨と風の強い日でした。

子どもはレインコートを着て、傘をさしてやってきました。

お母さんも傘をさしていましたが、右肩からびしょぬれでした。

どうやら、お母さんが右手で子どもの傘を抑えて来られたようです。

子どもが雨にぬれないように・・・。

言語性を伸ばす指導

力比べをします。

と言って、子どもと先生の絵カードを並べます。

「先生が子どもをひっぱる。」

「子どもを先生がひっぱる。」

「子どもをひっぱるのは先生です。」

と言うときはどちらに動いていきますか？

と問い、絵カードを動かします。

次に先生とぞうの絵カードを並べます。

「ぞうが先生をひっぱる。」

「先生をぞうがひっぱる。」

「先生をひっぱるのはぞうです。」

と言うときはどちらに動いていきますか？

と問い、絵カードを子どもに動かすように指示します。

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

漂泊鳥から

梅雨とは思えないほど、毎日暑い日が続いています。

雨でも降って、涼しくならないかな。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

=====
ことばだより No.81

ことばのもり 2003.7.7

=====
INDEX

ことば徒然

言語性を伸ばす指導

ことば徒然

文房具屋さんに白表紙や色画用紙を買いに行きました。

その日は雨でした。

傘を差していましたが、びしょぬれに近い状態で店に入りました。

紙を選びレジに行くと、

「あれ、ぬれてますね。変えましょう。」

と紙を取り替えてくれました。

店屋さんに見てみれば当たり前の声かけだったかもしれませんが。

自分が急いでいたらどう思ったかはわかりません。

でも、このときの一言で、うれしくなりました。

言語性を伸ばす指導

手をあらっているのはどれですか？

